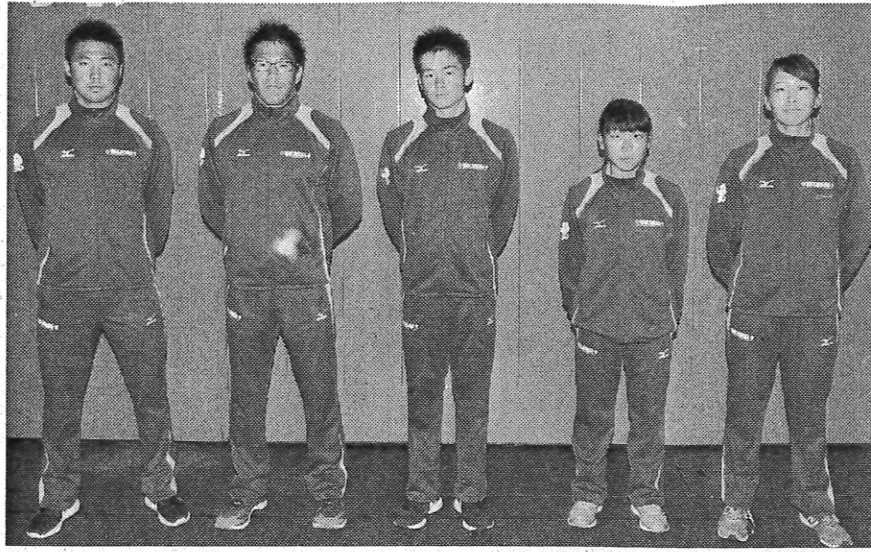


昭和21年7月10日第3種郵便物認可

(左から) 阪本直也さん、宮田悠佑さん、川村洗輔君、栗原萌衣さん、西山史扇さん



国体カヌー

紀南から5人出場

上位目指し練習

10月1～4日に愛媛県大洲市である第72回国民体育大会(愛媛国体)のカヌースプリント競技に、紀南から高校生と一般の5人が出場する。5人は田辺市の文里湾で、上位入賞に向けて練習に励んでいる。

出場するのは、少年男子カヤックシングルで川村洗輔君(17) 田辺工業高校3年、栗原萌衣さん(16) 神島高校2年、成年男子カヤックシングルで宮田悠佑さん(26) 県教育センター学びの丘、成年男子カナディアンシングルで阪本直也さん(29) 神

島高校教諭、成年女子カヤックシングルで西山史扇さん(26) 県教育庁。5人はコースの距離が200メートルと500メートルの両部門に出場する。

7月にあった国体予選の近畿ブロック大会で、宮田さんと西山さんはそれぞれの種目で優勝し、川村君と栗原さんは準優勝、阪本さんは3位で国体本大会への出場を決めた。

国体初出場の川村君と栗原さんは学校のカヌー部やクラブチームの田辺カヌースプリントクラブで練習。宮田さん、阪本さん、西山さんはそれぞれ、仕事前の早朝や仕事が終わった夕方などに練習してい

る。

2012年のロンドン五輪で8位に入賞した阪本さんは、15年の和歌山国体では200メートルと500メートルで優勝。16年の岩手国体では、高校教諭に就任して1年目で練習時間の少ない中、200メートルで優勝した。阪本さんは「短い時間でも集中した練習で状態を維持している。今年も優勝を狙いたい」と意気込みを語る。

川村君は「高校最後の大会なので今まで努力した成果を出し切りたい」、栗原さんは「皆さんの応援に励まされるよう決勝進出を目指したい」と抱負を話した。

宮田さんと西山さんは、昨年の国体で入賞した。本年度のカヌースプリント日本代表に選ばれている宮田さんは「去年よりも調子がいい。日本代表合宿での成果を出して優勝したい」と話す。西山さんは「ピーク時よりも体力が落ちているけど、今できることを精いっぱいやって決勝進出を目指したい」と話している。